

R7共同研究型 安芸津沿岸地域の魅力向上と持続可能な管理



1 課題

- (1)安芸津地域の観光コンテンツが体系的に整理されていない現状があるため、訪問者に向けた歴史的なコンテンツの整理等が必要とされている。
- (2)地域の活性化に資する安芸津沿岸地域の港湾施設の維持管理体制の検討が必要とされている。

2 概要

地図史料や文献史料から歴史的にその場所を読み、徹底したヒアリングを行い、様々な視点から安芸津地域の本質的な価値を検証する。

大学

樋渡 彩

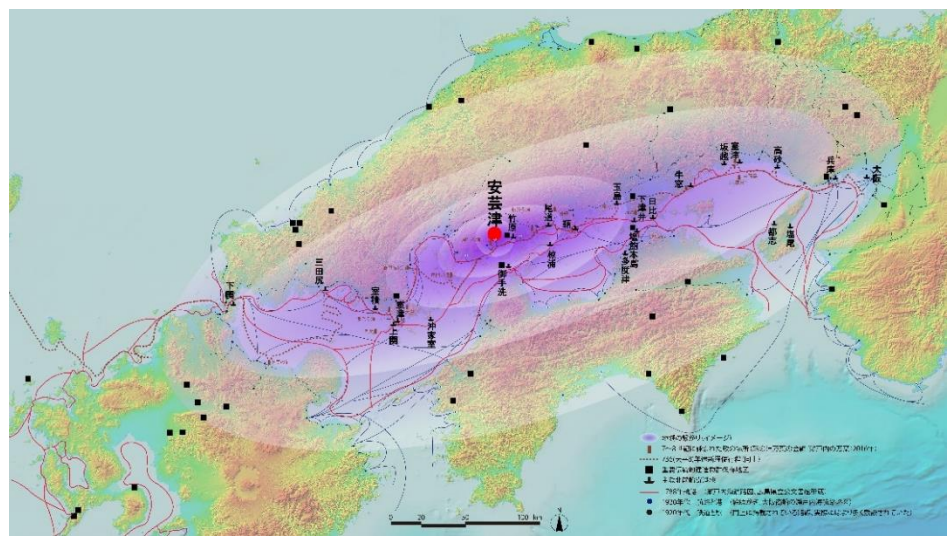
近畿大学
工学部建築学科 講師



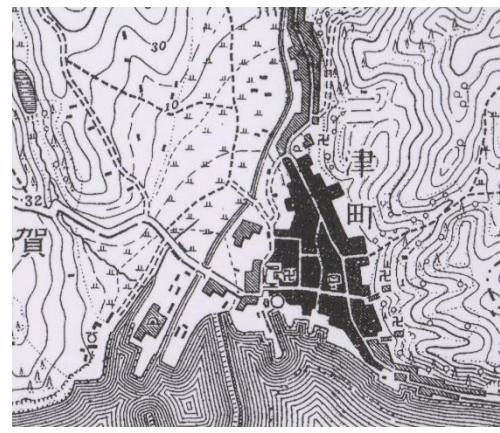
市担当課

×

地域振興部安芸津支所
産業部ブランド推進課
建設部技術企画課



▲安芸津を中心としたテリトリー（地域）のひろがり



▲年代ごとの安芸津の地図（1898年）

3 到達目標・方法

- (1)安芸津における地域特性を発見するため、地図史料や文献を収集、フィールドワークを実施する。
- (2)他地域とのつながりを検証する中で、観光コンテンツに資する安芸津の地域特性を把握する。



- (1)安芸津地域の歴史的な特性や地域の個性を、魅力ある文化的コンテンツとして整理し、地域への訪問者増加につなげることで、地域活性化に貢献する。
- (2)広島県が促進しているクルーズ船による外国人観光客の誘客などに向けて、港の多様な活用方法の検討につなげる。